丸山湿原群保全の会会報

（第 126 号）

発行日：平成 30 年 1 月 18 日　編集／発行：丸山湿原群保全の会

〒669-1211　宝塚市大原野字炭屋 1-1　西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061（今住）
E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com

こんな年もあるもんですね！12 月から寒波の連続。北極から寒気の吹き出しが断続的に続いているようです。偏西風が蛇行しているのでしょうか？黒潮といい、雪道の運転といい蛇行には要注意ですね。しかし寒い！1 月 13 日の活動日の朝は、おそらくー10℃近くまで下がったと思われます。**根拠は三田の記録がー7.8℃（標高１５０m）だったこと。丸山湿原が標高２７０m 前後で経験的に通常２℃ぐらいの温度差があることから。**西谷の消防分遣所にも記録があるのかな？三田アメダスの情報を引用しています。とにかく氷の世界が広がっていました。丸山の流水も凍っています。

冬らしい冬ととらえるのか極端な気候ととらえるのか難しいところです。

（今住　1 月 16 日作成）

活動報告　★12 月 24 日（日）定期活動　湿原再生作業　10 名で活動　晴れ

クリスマスイブ、何の因果か丸山湿原にいます。まー年齢的に考えてウキウキする人がいるとも思えませんが…。（いるかもです。いやいてほしい！）昨年はクリスマスの日でした。第４日曜なので日が近いのは当たり前。ということは次回の年末活動は 23 日？**おーちょっと賢くなったような気がします。（1 日ずつずれる。閏年に注意！夏のオリンピックイヤーは閏年。）**

柵の取り外し作業

本題です。昨年よりこの時期は湿原再生作業として水の滞留を作る活動をしています。今年度は歩道の柵が更新されるとのことで、柵に使われている丸太を少し利用しました。ブログには４本と書きましたが、後で確認すると６本使用です。

作業は柵の取り外しから。外すとなんとすっきりした風景が。柵（横木）がなければベンチにするのにもぴったりです。侵入もなんのその。全く罪の意識もなく入っていけます。柵って大事なんだなーと改めて感じました。

その後、ヌマガヤの刈り取り。第３湿原下手（東）。全て刈り取りができるかと心配しましたが昼までに完了。刈り取ったヌマガヤを湿原外に出す作業と並行して、横木を水道（みずみち）に設置します。第３湿原は毎年の両生類卵塊数調査で数が少ないところ。**滞留面積を増やしカスミサンショウウオの産卵が増えることを期待します。もちろんアカガエル類も。**

ヌマガヤの刈り取り前

刈り取り後　横木設置

休憩時間、ベンチ？と化した木道で休憩。失礼ながら、大阪（宝塚）のおばちゃん名物「飴ちゃん」のお配りもありがたい。あとも

木道から下手（北）の様子

う一息とヌマガヤ集めと横木の設置を頑張りました。昨年設置した場所（第３湿原西）は何となく機能しています。しかし昨年の両生類卵塊数調査では西側に卵は見られず。さて、今回はどうなることでしょうか？**今年も３月４日（日）午前にセミナー。午後は両生類卵塊数調査を予定。詳細は最後に。**まだ未定の部分が多くありますがぜひ多くの参加をお願いします。**イモリを飼育した小学生の皆さん！ちょっと大人になった中学生！来てね。今回も、田口先生（博士　地球環境学）がお話とガイドをしてくださいます。世界的なオオサンショウウオ研究者です！**

ベンチ？で休憩中　飴ちゃん支給

活動は昼過ぎまで、午後は自然休養村センターで反省会（茶話会）。活動のあり方や、パンフレットの再版・来年度のガイド研修先などの検討を行いました。何かいい案があればご連絡を！

イモリ帰る　★12 月 25 日（月）終業式後（午後３：00 頃から）

10 月 20 日に行なった西谷小学校環境学習。その時**内地留学したアカハライモリが帰ってまいりました。当初は 3 学期の環境学習時の予定でしたが、あまりにも過保護にされすぎたようで、このままでは自然復帰できないのではと心配の声が上がり、担任の先生の手で元の場所にリリースと相成りました。**

肥育？されていたアカハライモリ君

別れを惜しみ証拠写真？

冗談のようですが、学校では本当に大事にされていたようです。「餌に」とミミズを取りに行く子、きれいな水を家からわざわざ持ってきてくれる子もいたそうです。（さすが西谷。水道水よりきれいな水のありかを知っている。井戸水？山水？）休み前には世話ができない。心配とつれて帰る子も。**ところが家では大人たちが責任を感じて、相当ピリピリ神経をとがらせていたようです。（時代です）**確かにイモリも少なくなったようですね。**兵庫県 RDB 要注目種。なんと全国では 27 都道府県で準絶滅危惧種に指定されています。ため池の多い西谷にはまだまだいますが、コンクリートで固めた溝には住めません。自然をコントロールすることと、他の生き物の生きる権利の両立は難しい。改めて実感！**

しかも**この子は何度も脱走を試みた**とか。そこで、長期休暇に入る前に内地留学切り上げとなりました。**子どもたちから全権を託された担任の先生お二人は、わざわざ第 4 湿原下溝まで運び放されました。さすがに寂しそうで、放すときも手を振ってお別れです。記念写真も。「証拠写真」とも言っておられたな。大丈夫、私がしっかり見届けました。西谷小学校３年生の諸君ミッションインポッシブルですぞ！**

あとはぬるま湯生活を過ごしたアカハライモリ君が厳しい元の環境に耐えられるかが心配です。でも、ちょうど冬眠期。太った体は身を守ってくれるでしょう。きっと感謝していると思います。**「もう捕まるなよ！」と子供たちの声が聞こえてくるようでした。**捕まるようなら相当ドジなアカハライモリ君です。**男の子でした。見分け方とか調べてくれたかな？**

最後の別れと手を振る先生

３学期は作業の学習とカスミサンショウウオ・アカガエル類の卵が観察できると…。いいな！

活動報告　★1 月 13 日（土）定期活動　６名で活動　晴れ（厳寒・積雪あり）

定期基礎調査、巡回、ごみ回収、観察、外来種除去

目的	市内	市外
丸山	8	0
ハイキング	6	2
その他	6	0

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度（EC）	PH
入口	10：00	1.6℃		
視点場	10：45	0.8℃		
第３湿原	10：25	【3.5℃】	33.7μS/cm	6.4
第１湿原	10：50	【1.1℃】	32.6μS/cm	6.8
第２湿原	11：10	【1.6℃】	40.2μS/cm	6.6

来場者数　計 22 人
（竹筒ポスト人数）

新年最初の活動日。冒頭に書いた今シーズン最大寒波の朝です。駐車場に着くまで私の車の温度計は氷点下の数字を表示していました。数日前に降った雪も融けず辺りはうっすら雪景色。丸山北側のズリ（はげ山）も真っ白でした。**私は靴下三枚履きに長靴。これ結構いけますよ！**日が出ると気温は少し上がりましたが、湿原ではまた気温が低下。面白いですね。（温度計が変？）

【入口～湿原】

湿原に向かう道は凍りつきガタガタ。踏みしめてもぬかるみません。**霜柱は立派に育ちサクサク。頭に土をつけ、地中の水分が育っているのがよくわかります。凍り豆腐（高野豆腐）の原理ですね。**

凍てついた道を行く

いつも以上に来場者数は少ない

最近、都会で霜柱を見たり踏んだりすることはまずできないと思います。贅沢なんでしょうか？それとも、わざわざ寒いところへ行くバカ？まーどっちでもいいですがいい経験ができます。**経験で感じることが１番！皆さんもサクサク踏んで見ませんか？西谷にも土の道が減ってきました。「霜柱なんて知ってます！」と言える人が将来西谷でも減ってくるのでは？**温暖化もあるしね。**子どもたちよ知ってるか？もはや、氷柱（つらら）も絶滅危惧種ですね。**

ササに残雪が美しい

土を持ち上げた霜柱

【湿原】

湿原は全面、氷・氷・氷。水質調査地点も全て凍っています。湿原からの排水場所。最も流水速度の早い所なのですが凍っています。**さすが－10℃近く。連日の氷点下で氷が分厚くなったのでしょう。電気伝導度計や PH 計なんて軽いものです。水を採取するところや、センサーを入れるところを探すのにひと苦労です。**

氷上で計測中の電気伝導度計

視点場の前の水の滲みだし地点は斜めに凍っています。**湿原内のミカヅキグサには霜の結晶が。よく見ると様々な形の霜の結晶がそ**

氷上の PH 計

視点場前の第１湿原

またまた登場コアカミゴケ（地衣類）

木柵と自然木のコラボ横木

こら中に咲いていました。10時過ぎにまだ観察できるのは相当気温が低いからに違いありません。先日 TV の番組で霜活なるものを放送していました。今年は機会が多いかも。インスタ映えしますよ。

「霜活」トゲトゲの結晶が面白い

先日作業をした第３湿原は、切り株から立派に成長したコアカミゴケ（地衣類）が美しい。水の滞留のために入れた横木も機能しているようです。**１月に入るとカスミサンショウウオが出てきてもおかしくない時期。**探してみるも産卵はなし。丸山は２月に入ってからなのかもしれません。ただ、**オスが先に山から水に入りメスを呼ぶといいますから、ひょっとすると氷漬けの中にひっそりといるのかもしれません。**お一寒！呼ぶと言っても鳴きませんから。悪しからず。

跳ね上がった形の氷柱？

先に登場したアカハライモリは水の中で冬眠するのに、カスミサンショウウオは寒い中どうして動けるのでしょうね？体液に秘密があるそうですが…。アカガエル類も？

生物多様性とはよく言ったもので、同じカエルやサンショウウオの仲間でもひとくくりにできない。決めつけの危険性を学ばせてもらえます。人間も同じでしょうね。またまた説教じみました。失礼をば。

次回活動予告

前回も連絡しましたが、**次回の活動日１月 28 日（日）の作業は里山大学 OB 会の皆さん協力のもと、第２湿原再萌芽除伐作業を予定。**昨年除伐した部分もまたまた再萌芽していますが、今年は昨年できなかった奥の部分を実施します。ぜひご参加を。**道具は貸し出します。誰でも飛び入り大歓迎。１日の作業になりますので弁当・水分、防寒対策も十分にお願いします。無理はせず、できることをできるだけの作業です。10：00 駐車場集合です。**

第２湿原除伐作業予定場所

丸山セミナー予告

★丸山湿原エコミュージアム推進協議会主催

「両生類セミナー」「両生類卵塊数調査」

３月４日（日）まだ内容・時間は確定していません。変更の可能性があります。

①１０：３０～１２：００「西谷の森公園」多目的室

（仮題　オオサンショウウオとカスミサンショウウオ）

②１３：００頃～16：00 頃　丸山湿原で両生類の卵（卵塊）を調査します。

11 月 29 日大原野の民家の庭で見つかったカスミサンショウウオ

11 年間連続で行なっているセミナーです。講師はハンザキ研究所　田口勇輝氏（11 年連続講師）

午前だけ、午後だけの参加でも結構です。ふらってご参加ください。ただし、午後の部は人数多数の場合、湿原内立ち入りを制限することがあります。ご了承ください。

次回活動日１月 28 日（日）２月 10 日（土）25 日（日）

宝塚市より支給品いただきました！詳しくは blog に掲載中。ありがとうございました！